

[果樹部門]

6. 「ひだ国府紅しだれ」台木を用いた「清水白桃」若木の生育特性

[要約]

「ひだ国府紅しだれ」台木の「清水白桃」は、慣行台木の「清水白桃」より発芽、開花が1～3日遅く、樹勢がやや弱い傾向にあるが、果実品質は慣行台木を用いた場合と同等である。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 果樹研究室

[連絡先] 電話086-955-0276

[分類] 情報

[背景・ねらい]

近年、岡山県のモモ栽培において春先の若木の衰弱・枯死が増加傾向にある。秋冬期の温暖化傾向による樹の充実不良に加え、2～3月頃の気象変動が大きいことによる凍害が原因であると考えられる。対策として耐凍性が高いとされる岐阜県育成の台木「ひだ国府紅しだれ」の利用が考えられる。そこで、「ひだ国府紅しだれ」を用いた「清水白桃」の4年生樹までの生育特性を把握する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ひだ国府紅しだれ」台の「清水白桃」の発芽、開花期は、慣行の「筑波5号」台の「清水白桃」より1～3日遅い傾向がある（表1）。
2. 総新梢長は、2か年とも「ひだ国府紅しだれ」台の「清水白桃」が「筑波5号」台の「清水白桃」よりも明らかに短い。特に、「ひだ国府紅しだれ」台では新梢停止が早く、7月以降の伸長量が少ない（図1）。
3. 「ひだ国府紅しだれ」台の「清水白桃」は、「筑波5号」台の「清水白桃」より果実重がやや大きく、糖度がやや高い傾向にある（表2）。
4. 定植後4年経過した時点で、「ひだ国府紅しだれ」台、慣行の「筑波5号」台双方の「清水白桃」に凍害による樹勢衰弱・枯死樹の発生は見られず、耐凍性については確認できていない。

[成果の活用面・留意点]

1. 耐凍性については、衰弱・枯死樹の発生が見られなかったことから未検討である。
2. 果実品質については、若木での調査結果であり、継続検討が必要である。
3. 樹齢は台木の年数を示す。穂木部の樹齢は、2012年が2年生、2013年が3年生である。
4. 「ひだ国府紅しだれ」台木を利用する場合は、慣行台木より樹冠が小さくなることが想定される。
5. 「ひだ国府紅しだれ」台木は、岡山県内でも市販されている。

[具体的データ]

表1 台木の違いが「清水白桃」の発芽期、開花期に及ぼす影響

台木	3年生(2012年)				4年生(2013年)			
	発芽期	開花期			発芽期	開花期		
		始期	満開	終期		始期	満開	終期
ひだ国府紅しだれ	4/2	4/14	4/16	4/19	3/19	4/5	4/7	4/10
筑波5号(慣行)	3/31	4/13	4/14	4/16	3/18	4/4	4/5	4/8
有意性 ^z	**	**	*	**	ns	ns	*	**

^z t検定により、**は1%水準で、*は5%水準で有意差あり、nsは有意差なし

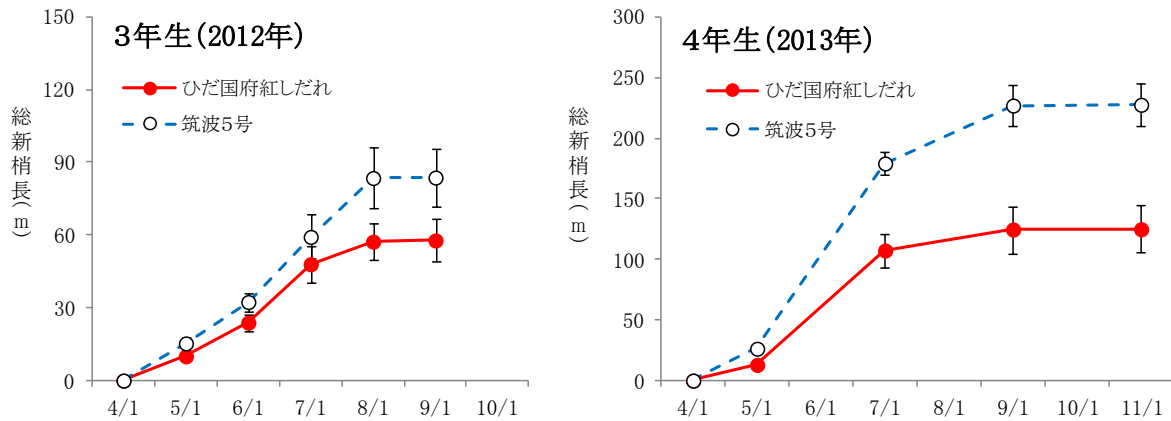


図1 台木の違いが「清水白桃」の総新梢長に及ぼす影響(バーは標準誤差を示す)

表2 台木の違いが「清水白桃」の収穫日、収量、果実品質、核割れ果率に及ぼす影響

台木	収穫日	収量 (kg/樹)	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	pH	渋味 (0~4) ^z	核割れ果率 (%)
<3年生(2012年)>							
ひだ国府紅しだれ	7/31	-	247	15.5	4.3	0.0	-
筑波5号(慣行)	7/30	-	225	14.4	4.4	0.1	-
有意性 ^y	ns	-	ns	**	*	ns	-
<4年生(2013年)>							
ひだ国府紅しだれ	8/1	12.5	304	13.5	4.4	0.2	10.0
筑波5号(慣行)	8/2	14.8	279	13.1	4.5	0.5	7.2
有意性 ^y	ns	ns	ns	ns	ns	ns	ns

^z 渋味は官能による5段階(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多)評価

^y t検定により、**は1%水準で、*は5%水準で有意差あり、nsは有意差なし

[その他]

研究課題名：気象変動に対応した春季のモモの樹勢衰弱・枯死回避技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2012～2016年度

研究担当者：荒木有朋、藤井雄一郎、片沼慶介